

# まちのわだい

## 美しい川を未来に残すために

### 第13回「秋津川流域大掃除&花いっぱい」活動



伸びきった草を刈り払う参加者(広崎橋付近)

入って空き缶やビン、板切れなどを一つ一つ回収していきました。また、花壇にはたくさんの花々の苗が植えられました。

作業でひと汗かいた後は、秋津川河川公園東屋付近で、参加者全員に貝汁とハイゼツクスご飯がふるまわれ、「ときめき出合い全体交流会」と称した昼食会が催され、楽しいひと時を過ごしました。

美しい川を未来に残すことは大切な財産であり、私たち町民一人ひとりの義務でもあります。ふるさとの美しい川の流れる風景をいつまでも守りたいものです。

4月29日、昭和の日に、今年も秋津川一帯で「秋津川流域大掃除&花いっぱい」活動が行われ、800人以上のボランティアが集まり、清掃活動や花植えに汗を流しました。

この活動は毎年、地域づくりボランティア益城まちおこし塾(園川茂、会長)の呼びかけで行われているもので、今回で13回目を迎えます。

この日は、うららかな晴天に恵まれ、集まった小中学生や各種団体のボランティアの参加者は、かまや草刈り機を使い、河川沿いの雑草を刈り払ったり、ゴミ袋を持って土手のごみ拾いや、川の中に



花壇には、季節の花々がたくさん植えられました

## トロッコがやって来た!

### 大喜びの園児たち

菊池郡菊陽町で鉄骨製作所を経営している江藤信義さん(75)は、手作りのトロッコを近郊の保育園などに持ち込み、幼児たちにボランティアのサービスを続けていますが、5月12日から19日まで、益城町の幼稚園、保育所七カ所を訪問し、園児たちを喜ばせました。

第二保育所(山田千代子所長・68人)では、江藤さんがトラックで運び込んだ鉄のレールが敷かれ、発電機付きのトロッコが、幼児四、五人ずつを乗せて、ゴトゴトと走りました。子供たちは大喜びで歓声を上げていました。江藤さんは「最初は孫の遊び道具に作ったんですが、あちこちから呼ばれて、もう10年になります」と相好をくずして



子どもたちと夢を乗せて出発進行!

## 子どもたちへの温かい寄付

### 熊本りんどうロータリークラブから

4月17日、熊本りんどうロータリークラブ(堅田勝彦会長)から、地域の子どもたちのために役立ててほしいと、町教育委員会に金一封の寄付があり、岡部教育長に目録が贈呈されました。

同団体からの寄付は昨年に続き2回目で、岡部教育長は「ご趣旨に応えるよう子どもたちの登下校の交通安全や犯罪防止のため、新入生の黄色い帽子の購入や『かけこみひなんの家』リーフレット制作費の一部にあてるなど、大切に使用させていただきます」とお礼を述べました。



堅田会長(左)から岡部教育長に目録が贈呈されました